

## 再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担当課： \_\_\_\_\_

担当課長名： \_\_\_\_\_

事業名：都市計画道路 赤塚駅北線	事業区分：街路	事業主体：茨城県
起終点：自：茨城県水戸市赤塚1丁目 至：茨城県水戸市赤塚1丁目		延長：0.36km
<b>事業概要</b> 都市計画道路赤塚駅北線は、JR常磐線赤塚駅と国道50号を結び、新たなるまちづくりの促進を図る幹線道路として重要な路線である。本事業により、赤塚駅北口における交通混雑の解消及び通行者の安全確保を図る。		
H8年度事業化	H7年度都市計画決定	H9年度用地着手
H 年度工事着手		
全体事業費	約25億円	事業進捗率
		60%
計画交通量	8,900台/日	
費用対効果分析結果	B/C (事業全体)	2.96
	(残事業)	6.76
総費用	(残事業)/事業全体 9.2/21.0億円	総便益
	(事業費：9.0/20.8億円) (維持管理費：0.2/0.2億円)	(残事業)/事業全体 62.2/62.2億円
		走行時間短縮便益：60.7/60.7億円 走行費用減少便益：1.3/1.3億円 交通事故減少便益：0.2/0.2億円
<b>感度分析の結果</b> 交通量、事業費等の変動を想定しても費用便益分析の結果に問題なし。		
<b>事業の効果等</b> ・円滑なモビリティの確保（赤塚駅へのアクセス等において旅行速度の改善が期待される。） ・安全な生活環境の確保（駅周辺道路として歩道が設置され、歩行者の安全が確保される。）		
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 赤塚駅周辺全体の市街地の活性化に寄与するため、地元水戸市から早期整備の要望がある。		
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> 本路線のうち、JR赤塚駅北口における交通混雑は、当初計画時の現状と変わらず激しく、事業箇所の交通量は一層増している。		
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> 用地買収の進捗は7割となっており、残る補償物件についても事業への理解を得ている。		
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> 引き続き用地買収が順調に進めば、順次工事に入り、平成20年度には全線供用を図る予定である。		
<b>施設の構造や工法の変更等</b> アスファルトコンクリートや砕石などの舗装材料に再生材を使用し、コスト縮減を図っている。		
対応方針	事業継続	
対応方針決定の理由	以上の状況を勧案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。	
事業概要図		

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。